

異物除去（全年齢）

※大原則 異物除去は意識のあるときのみ指導し意識消失後は心肺蘇生法を指導する。

「救急車はそちらに向かっています。落ち着いて私の質問に教えてください。」

気道異物に関する内容の聴取

- ※窒息を疑う症状（窒息のサイン）
- ・のどをつかむしぐさ（チョークサイン）
- ・声が出せない。息ができない。

なし

反応の確認

あり

- ・咳をすることが可能ならできるだけ続けさせる。
- ・背部叩打法
傷病者の後方から手のひらの基部で左右の肩甲骨の中間あたりを強く連続で叩く。
※異物がとれるか、反応がなくなるまで行う。
※意識（反応）がなくなった場合はすぐに知らせよう指示する。
※気道異物除去法のやり方を知っている場合、腹部突き上げ法（ハイムリック法）と背部叩打法を繰り返す。

背部叩打法の体位指導

（成人・小児）

- ・吐かせるような姿勢にして叩いてください。
（立位前屈姿勢又は座位前屈姿勢）
- ・自分の膝の上うつ伏せにして背中（左右の肩甲骨）の真ん中を叩いてください。
（乳児・新生児）
- ・頭側が下がるようにし、吐き出しやすいよう横向きにして背中を叩いて下さい。

腹部突き上げ法（ハイムリック法）

- ・座位又は立位の確認（臥位では指導しない）
- ・お腹を突き上げる方法を行います。
- ・背中の方にまわってください。
- ・患者の脇の下から両手を入れてください。
- ・もう片方の手で「グー」になっている手を握ります。
- ・勢いよく両腕を絞り込み（引き寄せ）お腹を圧迫します。
- ※注意 妊婦・乳児には使用しない。

傷病者の意識（反応）がなくなった場合

心肺蘇生法の口頭指導へ
（途中で異物が見えた場合は取り除く）